

申賢哲

知的基盤総合センター・特任准教授（常勤）

#### 【研究】

- ①仮想現実における建築の著作物の利用と権利制限の可能性－韓国の裁判例を素材として－、申賢哲、阪大法学 74 巻 1 号、2024 年 5 月、105 頁～138 頁。
- ②人工知能（AI）技術による著作物の利用と法的保護－日本の議論を中心とした比較法研究－、申賢哲、2024 グローバル文化コンテンツ学会冬季学術大会の学会誌、2024 年 12 月、3 頁～12 頁。

#### 【教育】

- ①春夏学期に、「商標法」（春夏学期 2 単位、法学研究科博士前期課程）、「法学の考え方」（春夏学期 2 単位、全学教育推進機構）を担当した。
- ②秋冬学期に、「技術保護法」（秋冬学期 2 単位、法学研究科博士前期課程）、「アジア知的財産法」（秋冬学期 2 単位、法学研究科博士前期課程・高等司法研究科共同開講）、「知的財産モラル」（秋冬学期 2 単位、全学教育推進機構）を担当した。

#### 【管理運営】

- ①「教務委員会」の委員長として、知的財産法プログラムの教務運営や入試業務、高度副・副専攻プログラムの運営・広報業務などを行った。
- ②「大阪大学会館委員会」の委員として、グループ学習などのための「IPrism ルームの運営」、知的基盤総合センター所蔵の書籍・雑誌の管理業務を行った。
- ③「広報委員会」の委員として、知的基盤総合センターのホームページの管理業務・学内外への情報発信業務を行った。
- ④「情報管理委員会」の委員として、教務管理情報の保護とセキュリティ対策を行った。

#### 【社会貢献】

- ①2023 年韓国大統領所属国会知識財産委員会「知識財産保護政策執行」年次報告書の研究・執筆・諮問委員として、当該年次報告書の執筆に係わっている。
- ②韓国の知的財産重点大学 3 大学の海外研修プログラムの一部を担当し、海外研修用の資料（140 頁）の作成・提供及び講義を行った。
- ③国際学術交流の一環として、「日韓知的財産セミナー」を 2 回企画し、開催した。
- ④神戸学院大学及び関西大学の非常勤業務を行った。